

第32回「感性研究フォーラム」講演会

ファッション：バーチャルとリアル

主催：繊維学会研究委員会「感性研究フォーラム」

共催：京都工芸繊維大学 繊維科学センター

協賛：日本繊維製品消費科学会，日本繊維機械学会，日本色彩学会，色材協会 他（予定）

日時：平成21年12月12日（土）13:30～17:00

場所：京都工芸繊維大学 1号館3F 大学院会議室

地下鉄松ヶ崎駅 徒歩約7分，http://www.kit.ac.jp/O1/O1_110000.html

プログラム：

13:10 受付

13:30～13:40 開会挨拶 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 教授 佐藤哲也
（研究委員会「感性研究フォーラム」委員長）

13:40～14:40 コミュニケーションⅠ（講演）

『ファッション・オン・デマンド 2020 ～CGによるファッションイノベーション～』

デジタルファッション株式会社 代表取締役社長 森田修史

海外ファストブランドや安価安定商品が指示を得る中、消費者心理が「個、精神的、維持」へと移り、日本企業は市場にアナログとデジタルの融合する新たなツールによってイノベーションをもたらす方法を再考する必要に迫られています。今後、海外でも評価を得ている日本のポップカルチャーやIT技術そして、日本の誇る器用なファッション技術力を融合させる事により、新たな職種（デジタルファッションクリエイター）やオンデマンドに服を製造販売する企業が出現するでしょう。今こそアナログとデジタルの両方を扱える人材を育成することで新たなクリエイションと販売方法によりイノベーションをもたらし、結果、環境負荷低減やエコ社会への貢献へと繋がるでしょう。

14:40～15:40 コミュニケーションⅡ（講演）

『不思議の国のリアルクローズ』 メタモルフォーゼ デザイナー 加藤訓仁子

ここ約10年で大きく変化した「ファッション」に対する考え方・環境、その中でもファッションジャンルから逸脱した「サブカルチャー」の一つとして捉えられていた「ロリータファッション」が、女の子達の「リアルクローズ」になるまでの取り組みと独自のデザイン論、世界観を時代背景を交えて分かりやすく解析します。

15:40～16:00 ブレーク

16:00～17:00 コミュニケーションⅢ（パネルディスカッション）

司会	京都工芸繊維大学	佐藤哲也
パネリスト	デジタルファッション株式会社	森田修史
	メタモルフォーゼ	加藤訓仁子
	京都工芸繊維大学	梶原莞爾
	神戸松蔭女子学院大学	徳山孝子

定員：70名（先着順）

参加費：一般 3,000円，学生 1,000円，研究委員会会員 1,000円（テキスト代として）

申込方法：氏名，所属，連絡先，E-mailを明記の上，下記までFAX，又はE-mailにてお申し込み下さい。

申込先：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町

京都工芸繊維大学 繊維科学センター内 感性研究フォーラム事務局 北口紗織

TEL/FAX 075-724-7578 E-mail saori.kit@gomail.com